

| | |
|----|-----------|
| 年度 | 平成16～18年度 |
|----|-----------|

基本目的 1 市民が快適に暮らせるまちになる

行動目標 1-2 生活環境を阻害する要因が減少する

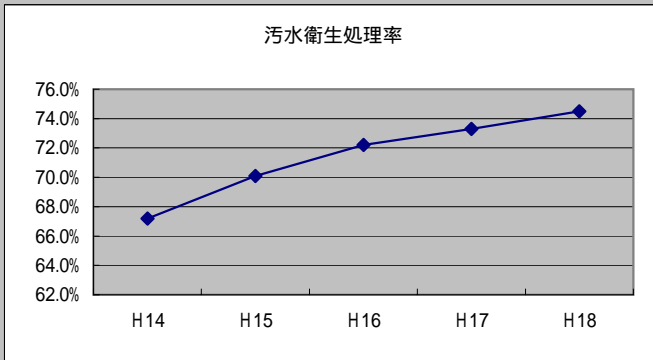
(所管課名 環境部環境保全課)

| | |
|----|------------------|
| 任務 | 生活排水による水質汚濁を防止する |
|----|------------------|

任務の成果・活動指標の推移

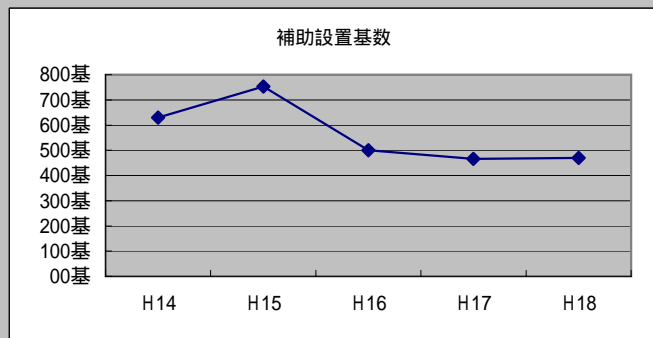
汚水衛生処理率

| | |
|-------|-------|
| H14実績 | 67.2% |
| H15実績 | 70.1% |
| H16実績 | 72.2% |
| H17見込 | 73.3% |
| H18目標 | 74.5% |



合併処理浄化槽設

| | |
|-------|------|
| H14実績 | 630基 |
| H15実績 | 753基 |
| H16実績 | 500基 |
| H17実績 | 466基 |
| H18目標 | 470基 |



指標の説明

生活排水による公共水域の汚濁防止状況を表すのに汚水衛生処理率(生活排水を処理されている人口比率)と浄化槽設置補助基数を指標とした。

任務に対する評価

これまでの取組と成果、手段の妥当性

平成16～17年度

生活排水対策として合併処理浄化槽の普及促進を図るため、設置者に対して H16年度 500基 H17年度 466基 の補助を行った。
合併処理浄化槽設置費用の補助制度の広報への掲載、FMよっかいちでの放送並びに浄化槽設置施工業者への啓発を行い、合併処理浄化槽設置の促進を図った。
合併処理浄化槽が集団で設置される場合、処理排水の放流先が未整備区域において専用排水管の整備を行った。

平成18年度

合併処理浄化槽の設置補助の予定基数を470基とし、公共下水道等の整備と併せて汚水衛生処理率の向上に努める。

これからの課題、施策等展開の方向性

合併処理浄化槽設置基数は、ここ3年減少気みであるが、汲取りや単独浄化槽の家庭が多数あるため、生活排水による公共水域の水質汚濁を防止するため合併浄化槽設置の促進をしていく。